

平成26年11月6日

各 位

会 社 名 乾汽船株式会社
代表者名 代表取締役社長 乾 康之
(コード番号：9308 東証第一部)
問合せ先 常務執行役員
コーポレートスタッフ部門担当 阿部 健二
(TEL. 03-5548-8613)

経営統合により消滅した被合併法人（旧会社名 乾汽船株式会社）に係る決算開示について

平成26年10月1日付の経営統合により消滅した被合併法人（旧会社名 乾汽船株式会社）に関する平成27年3月期第2四半期決算短信（平成26年4月1日～平成26年9月30日）につき、添付のとおりお知らせいたします。

（添付）

・乾汽船株式会社（旧会社名 乾汽船株式会社）平成27年3月期第2四半期決算短信

以上



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月6日
上場取引所 東

上場会社名 乾汽船株式会社（旧会社名 乾汽船株式会社）
 コード番号 9308 URL <http://www.inui.co.jp/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）乾 康之
 問合せ先責任者 （役職名）常務執行役員 （氏名）阿部 健二 TEL 03-5548-8613
 コーポレートスタッフ部門担当
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	8,746	10.6	△177	—	△293	—	△1,814	—
26年3月期第2四半期	7,905	22.5	△853	—	△925	—	△365	—

（注）包括利益 27年3月期第2四半期 △1,451百万円（—％）

26年3月期第2四半期 615百万円（—％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△61.69	—
26年3月期第2四半期	△12.42	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	31,956	18,007	56.3	612.28
26年3月期	33,314	19,658	58.7	664.78

（参考）自己資本 27年3月期第2四半期 18,007百万円

26年3月期 19,551百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	3.00	3.00
27年3月期	—	—	—	—	—

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

平成26年10月1日をもってイヌイ倉庫株式会社との経営統合が成立しているため、消滅会社である当社の平成26年5月12日に公表した連結業績予想については取り下げております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	29,429,335株	26年3月期	29,429,335株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	19,487株	26年3月期	19,460株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	29,409,872株	26年3月期2Q	29,409,875株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は受けておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来予測情報の適切な利用に関する説明）

平成27年3月期の連結業績予想については、イヌイ倉庫株式会社との経営統合による影響を精査中であり、開示が可能となった時点で統合新会社として速やかに開示する予定です。

（四半期報告書の提出についてのご注意）

平成26年11月7日提出予定の四半期報告書は、乾汽船株式会社（旧会社名 イヌイ倉庫株式会社）の平成27年3月期第2四半期の四半期報告書であり、乾汽船株式会社（旧会社名 乾汽船株式会社）のものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)の世界経済は、米国では株価の高値更新に象徴されるように景況感及び企業業績期待が復調しています。日本では、株式市場は堅調に推移したものの、消費増税後の消費停滞、円安に伴う原材料やエネルギー価格の高騰の懸念もあり、政府の成長戦略への期待が盛り上がり、欧州でも景気の停滞を背景にデフレ懸念が強まりました。加えてウクライナや中東、香港情勢等が地政学リスクとして意識され、全体としては不安定な状況が続きました。

不定期船外航海運業を取り巻く環境としましては、世界的な船腹過剰の影響を受け低調な市況が続きました。当社が主力とするハンディサイズばら積み船の運賃・用船市況につきましては、昨年後半にいったん回復基調となっていました。2月頃より下落に転じ、現在に至るまで下落を続けております。

その中であって当社は、自主運航による効率的な配船を追求すると共に、減速航海の深度化による更なる燃料費削減などを実施し収益改善に努めてまいりましたが、市況の低迷による採算の悪化をカバーするには至らず、当連結累計期間の営業損益及び経常損益は赤字となりました。

特別損益に関しましては、合併関連費用を計上していること、ならびに現在の用船市況に比べ高い借船契約をしている船舶の一部について早期解約を実施したことによる用船契約解約金を計上しております。このため当期純利益では大幅な赤字となりました。

具体的な数字といたしましては、当第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)の連結売上高は8,746百万円(前年同期比841百万円の増加)、営業損失は177百万円(前年同期比676百万円の縮小)、経常損失は293百万円(前年同期比632百万円の縮小)、四半期純損失は1,814百万円(前年同期比1,449百万円の拡大)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は31,956百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,357百万円の減少となりました。主な要因は現金及び預金の減少2,184百万円、繰延及び前払費用の減少120百万円、新造船2隻の建造契約・起工などともなう有形固定資産の増加861百万円、投資有価証券の減少169百万円等によるものです。

負債は13,949百万円となり、前連結会計年度末に比べ293百万円の増加となりました。これは主に海運業未払金の増加141百万円、短期借入金の増加49百万円、長期借入金の増加111百万円等によるものです。

純資産は18,007百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,651百万円減少しました。これは主に利益剰余金の減少1,907百万円、その他の包括利益累計額の増加363百万円、新株予約権の減少107百万円等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は4,309百万円となり、前年同四半期末比1,026百万円の増加(前連結会計年度末に比べ2,184百万円の減少)となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により減少した資金は929百万円で、これは主に8,703百万円の営業収入、8,940百万円の高船賃費用の支出ならびに277百万円の人件費の支出等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は1,054百万円で、これは主に新造船建造資金を主とした有形固定資産の取得による支出1,549百万円、投資有価証券の償還による収入500百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は418百万円で、これは短期借入金の返済による支出100百万円、長期借入れによる収入464百万円、長期借入金の返済による支出695百万円等によるものです。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,494,630	4,309,791
海運業未収金	1,137,293	1,134,856
貯蔵品	906,328	957,881
繰延及び前払費用	491,749	371,459
未収還付法人税等	1,872	2,520
その他	657,639	875,065
流動資産合計	9,689,513	7,651,575
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	17,244,145	16,555,295
その他(純額)	912,586	2,462,635
有形固定資産合計	18,156,731	19,017,930
無形固定資産		
	76,801	65,866
投資その他の資産		
投資有価証券	4,984,019	4,814,638
その他	407,453	406,530
投資その他の資産合計	5,391,473	5,221,169
固定資産合計	23,625,006	24,304,967
資産合計	33,314,520	31,956,542
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	1,329,472	1,471,414
短期借入金	1,496,670	1,546,037
賞与引当金	23,767	23,343
その他	434,320	446,370
流動負債合計	3,284,230	3,487,166
固定負債		
長期借入金	9,287,214	9,398,785
退職給付に係る負債	2,016	—
特別修繕引当金	209,419	195,339
その他	873,087	868,197
固定負債合計	10,371,738	10,462,323
負債合計	13,655,969	13,949,489

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,351,682	3,351,682
資本剰余金	2,098,314	2,098,314
利益剰余金	12,514,705	10,607,544
自己株式	△6,320	△6,330
株主資本合計	17,958,383	16,051,211
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	309,620	563,235
繰延ヘッジ損益	△19,386	△25,142
為替換算調整勘定	1,302,569	1,417,749
その他の包括利益累計額合計	1,592,802	1,955,842
新株予約権	107,365	—
純資産合計	19,658,551	18,007,053
負債純資産合計	33,314,520	31,956,542

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	7,905,080	8,746,602
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	8,286,329	8,470,107
売上総利益又は売上総損失(△)	△381,248	276,494
一般管理費	472,212	453,818
営業損失(△)	△853,461	△177,324
営業外収益		
受取利息	34,425	47,448
受取配当金	26,082	30,332
船舶燃料受渡精算金	82,367	75,673
その他	17,185	16,656
営業外収益合計	160,061	170,111
営業外費用		
支払利息	116,148	165,521
有価証券運用損	58,186	—
為替差損	—	78,589
船舶燃料受渡精算金	55,118	24,498
その他	2,405	17,309
営業外費用合計	231,858	285,918
経常損失(△)	△925,258	△293,131
特別利益		
投資有価証券売却益	26,543	16
固定資産売却益	490,903	—
新株予約権戻入益	985	107,365
特別利益合計	518,432	107,381
特別損失		
用船契約解約金	—	1,449,495
合併関連費用	—	191,387
減損損失	—	24,230
固定資産除却損	2,883	0
特別損失合計	2,883	1,665,113
税金等調整前四半期純損失(△)	△409,710	△1,850,863
法人税、住民税及び事業税	1,900	1,900
法人税等調整額	△46,382	△38,331
法人税等合計	△44,482	△36,431
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△365,227	△1,814,432
四半期純損失(△)	△365,227	△1,814,432

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△365,227	△1,814,432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	797,091	253,615
繰延ヘッジ損益	94,710	△5,755
為替換算調整勘定	88,455	115,179
その他の包括利益合計	980,256	363,039
四半期包括利益	615,029	△1,451,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	615,029	△1,451,393

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
営業収入	7,896,672	8,703,263
海運業費用の支出	△7,575,668	△8,940,569
人件費の支出	△266,447	△277,867
その他の営業支出	△228,688	△326,190
小計	△174,132	△841,363
利息及び配当金の受取額	36,851	54,640
利息の支払額	△90,639	△136,109
法人税等の還付額	13,099	6,845
法人税等の支払額	△5,163	△13,599
営業活動によるキャッシュ・フロー	△219,984	△929,587
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,767,967	△1,549,673
有形固定資産の売却による収入	567,348	—
投資有価証券の取得による支出	△99,962	—
投資有価証券の売却による収入	223,616	141
投資有価証券の償還による収入	—	500,000
その他	△3,862	△5,244
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,080,826	△1,054,776
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△100,000
長期借入れによる収入	1,540,000	464,964
長期借入金の返済による支出	△496,274	△695,364
自己株式の取得による支出	—	△10
配当金の支払額	—	△88,110
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,043,725	△418,521
現金及び現金同等物に係る換算差額	169,827	218,046
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,087,257	△2,184,838
現金及び現金同等物の期首残高	5,370,726	6,494,630
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,283,469	4,309,791

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、外航海運業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。